

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度							
事務事業名	道路維持管理事業（政策）					事業類型	補助事業	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	根拠法令	
			08	02	01	03		要求区分 政策経費
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象
	(2) 都市基盤の整備						市民協働	行政主体
	1 道路・交通						担当課係等	道路建設課
⑤生活道路の整備						管理担当		
事業期間	期間限定複数年度（平成27年度～平成35年度）							

現状把握の部（D0）

【目的】 限られた予算の中、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換することで橋梁の長寿命化を図り、予算の平準化と維持管理コストの縮減を行う。 これにより、次の世代に大きな負担をかけることなく、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保することを目的とする。	【関連事業】 無
【期待される効果】 次の世代に大きな負担をかけることなく、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保することができる。	【対象者】 市道及び橋梁利用者
【全体概要】 本事業は、市が管理する道路・水路・排水路等の維持管理を目的としており、主な内容は、舗装等の維持補修工事及び雨水排水を処理する側溝内の機能維持をするための側溝清掃、境界確認、狭隘箇所・見通しの悪い箇所・通学路の道路路側草刈、道路台帳補正、立竹木伐採等の業務委託、更に砕石等の原材料購入がある。	【特記事項】 ○平成25年度橋梁長寿命化策定計画に基づき、計画的に17橋を修繕する。（境橋・1020橋・0057橋・2003橋・松延橋・下志筑橋・西田橋・安笠橋・四万騎橋・飯田橋・新山橋・十三塚橋・要害橋・中根橋・殿内橋・堰下橋・稻荷橋） ○5年に1回の道路橋梁定期点検義務を、平成28年度より計画的に市内の2m以上の橋梁167橋について実施。 ※防災安全交付金（補助率55%）を活用する。
【平成27年度 事業内容】 ・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、設計を実施する。	【平成28年度 事業内容】 ・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、設計を実施する。
	【平成29年度 事業内容】 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、設計を実施する。 道路橋梁法令定期点検実施。 道路橋梁補修工事実施。

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	7,150	34,650
	県支出金	0	0	0
	自主財源	0	6,746	31,371
	歳入計（千円）	0	13,896	66,021
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	0	13,896	48,179
	15 工事請負費	0	0	17,842
歳出計（千円）（A）		0	13,896	66,021
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 375.1 予 75.12
職員人工数		1.20	1.20	1.20
職員人件費（B）		9,227	9,442	9,120
総事業費（A）＋（B）		9,227	23,338	75,141

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	橋梁補修計画実行件数	橋	長寿命化修繕計画に基づいた橋梁補修設計・工事件数	目標	2.00	3.00	2.00	
				実績	0.00	3.00	0.00	
		橋	目標	0.00	0.00	0.00		
			実績	0.00	0.00	0.00		
成果指標	補修計画実施件数	橋	補修設計・工事实施件数	目標	2.00	3.00	2.00	
				実績	0.00	3.00	0.00	
			目標	0.00	0.00	0.00		
			実績	0.00	0.00	0.00		

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 橋梁の適正な管理を行うものであり、目的との整合性が合致している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 計画的かつ予防的に橋梁の点検・修繕を行うことにより、道路交通の安全性と維持管理コスト縮減が図れる。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 必要な事業であり、現在考えられる最善の方法で実施しているが、状況にあわせ、また定期的な検証・見直しは必要である。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 廃止・休止した場合は、橋梁の損傷レベルが進行することにより、橋梁の安全性が確保できなくなるため、道路交通に支障が出る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 公道に架かる橋梁の点検や修繕であるため、他事業との連携は難しい。妥当性については上記のとおりである。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 橋梁の法令点検が道路管理者に義務付けられているため、また、橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕が計画されているため削減する余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 道路管理者が管理している橋梁の法令点検や平成25年に橋梁長寿命化修繕計画を策定し公表した橋梁修繕であるため、公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	最善の方法で事業を行っているが、状況に合わせ、その都度見直しを行っていく。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 大山俊男
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の長寿命化を図り、通行の安全を図る。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 渡辺泰二
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 一次評価を遵守すること。事業の優先度、必要性は相応に高いと考えられる。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度							
事務事業名	市道整備事業（政策）					事業類型	補助事業	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	根拠法令	
			08	02	02	05		要求区分 政策経費
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象
	(2) 都市基盤の整備						市民協働	行政主体
	1 道路・交通						担当課係等	道路建設課
④幹線道路の整備								工務担当・用地担当
事業期間	単年度のみ							

現状把握の部（D0）

【目的】 計画路線及び地区要望路線の整備を行い、道路の安全性の確保と利便性の向上を図る。	【関連事業】 道路整備事務事業 市道整備事業 道整備交付金事業（政策）
【期待される効果】 車両通行及び歩行者等の安全性の確保及び利便性の向上。	【対象者】 市道利用者
【全体概要】 行政区長要望及び計画路線整備または通学路整備等を主に行っている。要望路線、計画路線区域については、用地取得により早急に整備する必要がある。また、通学路については各関係機関と合同点検等を実施し、安心して安全な整備が早急に必要である。舗装補修工事については、幹線道路を継続的に補修します。排水整備工事については、冠水・滞水箇所の整備をします。	【特記事項】 ○防災・安全社会資本整備交付金事業（補助率55%）
【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事 ・舗装新設工事 ・舗装補修工事 ・排水整備工事 ・用地買収・補償 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事 ・舗装新設工事 ・舗装補修工事 ・排水整備工事 ・用地買収・補償
【平成29年度 事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事 ・舗装新設工事 ・舗装補修工事 ・排水整備工事 ・用地買収・補償

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度						
財源	国庫支出金	40,480	14,438	21,890						
	県支出金	6,150	0	0						
	自主財源	203,160	145,060	148,848						
	歳入計（千円）	249,790	159,498	170,738						
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）						
	11 需用費	0	0	109						
	13 委託料	24,298	15,916	12,157						
	15 工事請負費	180,657	126,240	145,400						
	16 原材料費	219	283	238						
	17 公有財産購入費	15,808	7,278	784						
	22 補償、補填及び賠償金	28,808	9,781	12,050						
内訳	歳出計（千円）（A）	249,790	159,498	170,738						
	（参考）	当初予算額	273,782	当初予算額	196,645	伸び率(%)	決	7.04	予	-13.1
	職員人工数	3.60	3.15	3.40						
	職員人件費（B）	27,681	24,785	25,840						
総事業費（A）＋（B）	277,471	184,283	196,578							

■指標						
種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	整備延長	m	目標	4,655.00	2,820.00	1,935.00
	工事施工延長		実績	2,949.00	1,978.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	整備率	%	目標	100.00	100.00	100.00
	整備延長／計画延長		実績	63.40	70.14	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 幹線道路の整備を促進するものであり、目的との整合性が合致している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 計画路線及び地区要望路線の道路整備・排水整備等を計画的に行うことにより、交通基盤の充実、且つ近隣住民の安心安全が図れる。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助事業の補助内定率が年々低下しているため、整備事業費（特定財源）の確保には限界があり、計画に遅延が生じている。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地区要望路線及び計画路線（通学路整備等）が主であり、安心して安全な道路整備が求められる。また、冠水、滞水箇所の改善のための排水整備も強く求められている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 安全性や利便性向上のため、交通基盤の整備及び排水整備を実施する事業であるため、統廃合・連携は難しい。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 補助事業の内定率が年々低下しており、整備計画どおりに整備できていないのが現状である。また、地区要望や経年劣化による道路ストック等の損傷が年々増え続けているため、削減は難しい。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 計画路線及び地区要望路線を整理し、各地区の平準化を考慮し計画的に実施しているため、公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	計画路線及び地区要望路線を整理し、各地区の平準化を考慮しながら優先度・緊急性の高い順に整備を実施しているが、今後においても最良な工法検討及び最小限のコストで効率的な設計・施工を考慮した整備を実施していく。また、整備に係る補助事業（特定財源）の有効活用を引続き行っていく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：大山俊男
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 地区要望の生活道路や通学路の整備を計画的に進める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：渡辺泰二
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 地域間の平準化を図りながら緊急性を考慮し、効果のある路線整備を実施する。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度						事務事業評価シート			
事務事業名	道整備交付金事業（政策）						事業類型	補助事業		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法	
			08	02	03	02				
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象		
	(2) 都市基盤の整備						市民協働	行政主体		
	1 道路・交通						担当課係等	道路建設課		
③広域的な道路体系の確立						工務担当・用地担当				
事業期間	期間限定複数年度（平成26年度～平成29年度）									

現状把握の部（D0）

【目的】 石岡市・土浦市に至る広域的幹線道路として、歩道整備と併せ改良工事を行い安心安全で快適な交通を確保する。	【関連事業】 道路整備事務事業 市道整備事業 市道整備事業（政策）
【期待される効果】 交通の安全性を高めることで、産業の振興や地域間の交流促進が図れる。また、アクセスの強化により、地域の活性化及び近隣市街地間の連携強化が図れる。	【対象者】 市道利用者
【全体概要】 広域的な幹線道路として3路線を補助金を活用し整備する。石岡市方面から市道6-0006号線新治地内を通り、角来から市道0110・0109号線宍倉地内を経て、土浦市で整備するI級42号線から国道354号を横断しおおつ野地区及び土浦協同病院へ至る広域幹線道路を整備する。	【特記事項】 ○平成26年度から道整備交付金活用 地方創生道整備推進交付金（補助率50%） （H28年度から交付金名称変更：旧道整備交付金）
【平成27年度 事業内容】 ・道路改良工事 ・道路用地取得 ・物件等補償	【平成28年度 事業内容】 ・道路改良工事 ・用地買収・補償
【平成29年度 事業内容】 道路改良工事 用地買収、補償	

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	56,660	61,351	56,551
	県支出金	0	0	0
	自主財源	94,158	68,288	57,152
	歳入計（千円）	150,818	129,639	113,703
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	9,245	907	600
	15 工事請負費	85,968	116,351	109,500
	17 公有財産購入費	32,518	3,155	1,103
	22 補償、補填及び賠償金	23,087	9,226	2,500
歳出計（千円）（A）		150,818	129,639	113,703
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -12.2 予 -39.4
職員人工数		2.65	2.45	2.45
職員人件費（B）		20,376	19,277	18,620
総事業費（A）＋（B）		171,194	148,916	132,323

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	整備延長	m		目標		760.00	750.00	386.00
				実績		464.00	428.00	0.00
	工事施工延長			目標		0.00	0.00	0.00
				実績		0.00	0.00	0.00
成果指標	整備率	%		目標		100.00	100.00	100.00
				実績		61.10	57.06	0.00
	整備済延長／計画延長			目標		0.00	0.00	0.00
				実績		0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 広域的幹線道路の整備を促進するものであり、目的の整合性が合致している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 石岡市から土浦市に至る広域的幹線道路として歩道整備と併せ道路改良工事を行うことにより、利便性の向上及び安心で快適な交通基盤が整備できる。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助事業の補助内定率が年々低下しているため、整備事業費（特定財源）の確保には限界があり、計画に遅延が生じている。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 広域的幹線道路のアクセス強化を行うことで、地域の活性化、産業の振興、地域間の交流等に必要不可欠である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 広域的な道路体系の確立を図るため、広域的幹線道路の整備を実施する事業であるため、統廃合・連携は難しい。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 補助事業の内定率が年々低下しており、整備計画どおりに整備できていないのが現状である。また、近隣市と連携した重要な広域的幹線道路の整備であるため、事業費及び人件費の削減は難しい。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 近隣市と連携した広域的幹線道路の整備であり、広範囲の住民（市道利用者）の利便性向上を図る事業であるので、公平性は確保される。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	近隣4市（土浦市・石岡市・かすみがうら市・小美玉市）との連携を図りながら、効率的な事業効果の促進を行っていく。しかし、補助内定率が年々低下しており、計画どおりに整備ができていないため、地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）の事業期間内に事業完了が見込めない路線がある。今後は、地域再生計画の変更認可申請を行い、事業継続を図る。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：大山俊男
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 重要な広域的幹線道路であるため計画的に整備を進める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：渡辺泰二
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 一次評価を遵守し、工事の年度内完成を図る。		